

南国市は「国営ほ場整備事業」の令和 2 年度実施に向けて取り組んでいます。

農地を整備することで、営農しやすく維持しやすい農地となり、将来の農地の貸し借りもスムーズに！



課題

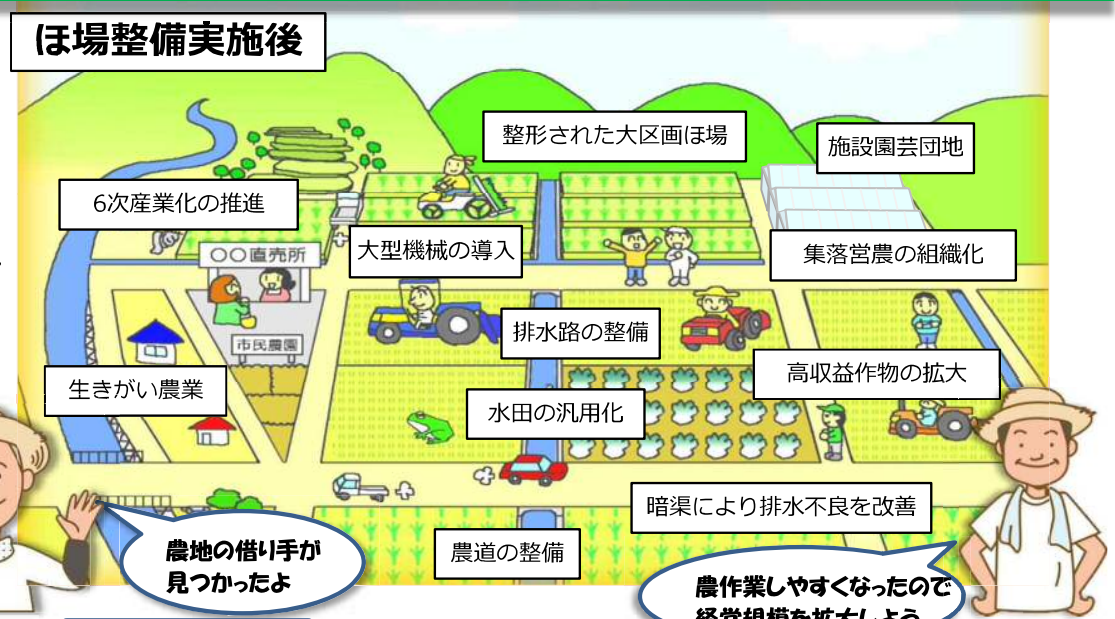
農地を貸したい方

- 高齢となり農業を続けるのが大変になってきたが、後継ぎもいない
- 農地の状態が悪く（狭くて不整形、狭い農道、排水不良など）、将来は耕作放棄地になってしまわないか心配
- 農地を貸したいが、今の農地のままで借りてくれるか心配

担い手・農地を借りたい方

- 規模拡大をしたいが、農地の条件が悪くて効率的な農作業ができない
- 農地が分散していて、作業効率が悪い

整備すれば…



解決

農地を貸したい方

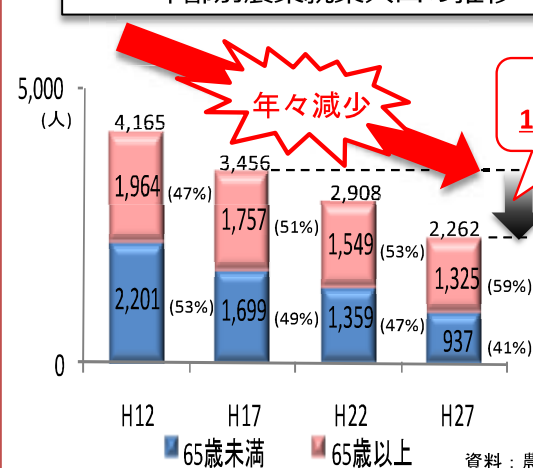
- 使いやすい農地となれば、農地の貸し出しもスムーズに進み、将来も安心して農地を任せられる
- 耕作放棄地の解消と発生を未然に防止し、地域の大切な農地が守られる

担い手・農地を借りたい方

- 区画、用排水路、農道等の総合的な整備をすることで、効率的な農作業が可能に
- 農地の集団化や利用集積により農地がまとまり、作業効率が向上します
- 大規模な農業経営や野菜栽培等により安定した経営、稼げる農業を実現

南国市の農業就業者数の推移

年齢別農業就業人口の推移



南国市の農業就業者数は、年々減少し、**高齢化の進行や後継者不足が深刻な問題**となっています。地域の農家が減少する中で、将来も農地を荒らさず、地域の農業を維持するためには、**担い手に農地集積※していくことが必要**になってきます。

※農地集積とは、「賃借」や「農作業受委託」等により、担い手に農地の利用を集めることです。

国営ほ場整備事業の農家負担

南国市は、ほ場整備にかかる**農家負担割合**を、従来の事業費の3.2%から**1.9%に引き下げました**。

さらに

農家負担の軽減対策があります。【農業経営高度化促進事業（促進費）】整備した農地のうち、**55%以上の農地を担い手に集めること**で、実質農家負担率が**事業費の0.5%～0%に軽減**されるという制度があります。

「国営ほ場整備事業」の実施により、農業・農村の発展を目指します。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

南国市長 平山耕三

お問い合わせ 南国市農地整備課 ☎088-880-6586（直通）

南国市は『儲かる農業』の実現を目指します！

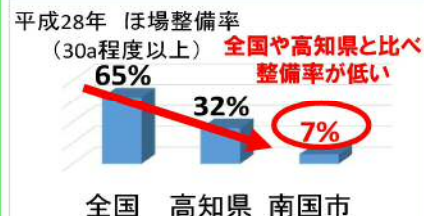
～ 基盤整備を契機とした南国市農業の大転換 ～

地域の現状

弱み

克服

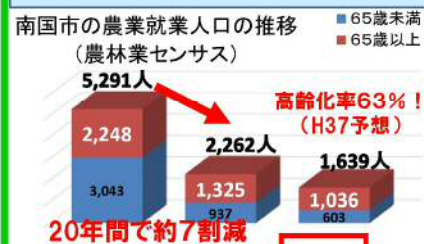
ほ場整備率の遅れ



高い米の生産コスト



担い手の減少と高齢化



目指す姿

弱みを克服

法人化による高収益作物の生産拡大

- ・基盤整備を機に法人への集積を加速化させ、県内第1位の産地である米の生産コストの削減、露地野菜等の生産拡大による所得向上を実現

担い手農地利用集積率 現況11%から 80%以上へ

新たな営農展開へ



集落営農・法人化等による 所得向上と雇用創出

南国市の法人化モデル

水稻+露地野菜+園芸 を組み合わせた複合経営

- ・水稻20ha ・露地野菜8ha(キャベツ他)・園芸1ha

強みを活かす

次世代型こうち新園芸システムの普及拡大

- ・次世代型ハウス※の整備+IPM技術※によるブランド化の推進

(※次世代型ハウスとは温度、湿度、二酸化炭素濃度等の栽培環境をコンピューターにより制御可能なハウス)
(※IPM技術とは病害虫や雑草防除において、化学合成農薬だけに頼らず天敵や防虫ネットなど、さまざまな防除技術を総合的に講じる手法)



環境制御装置



ピーマン
10a当たり農業所得
現況 1031千円
計画 1644千円
約60%UP

ニラ
10a当たり農業所得
現況 234千円
計画 917千円
約4倍

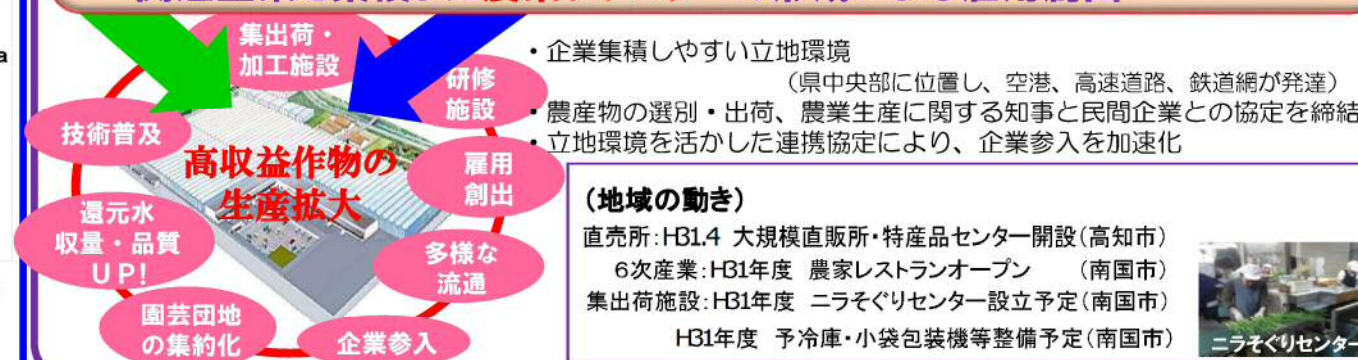
ししとう
10a当たり農業所得
現況 548千円
計画 1608千円
約3倍



連携

高収益作物の生産拡大を核として

関連企業を集積した農業クラスターの形成による雇用創出



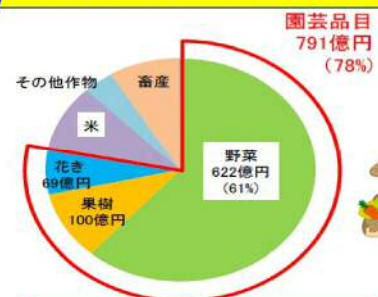
強み

活かす

高い耕地面積率



高知県の農業産出額の内訳



農業産出額 (1,011億円) のうち、8割が園芸品目 (平成27年)

園芸の生産性日本一！

H27 耕地面積当たりの農業産出額 高知県が圧倒的1位！



※産出額は「農業生産所得統計」より米、畜産、加工農産物を除き、耕地面積は、米を除いて算出(農林水産省データより)

「弱みを克服し」「強みを活かす」農業・地域の所得を大幅アップ！